

川村小学校

【理事長】川村 正澄

【校長】川村 正澄

〒171-0031 東京都豊島区目白2-22-3 TEL.03-3984-8321(代)・7707(入試広報室)

http://www.kawamura.ac.jp/syougaku/

【交通】JR山手線目白駅徒歩2分、東京メトロ副都心線雑司が谷駅徒歩7分

こころの教育を重視して

川村学園の教育

創立以来、「感謝の心」を基盤として「女性の自覚」「社会への奉仕」を建学の精神とし、92年の歴史を通して今も脈々として継承されています。また、知育・徳育・体育の調和のとれた、品性に満ち国際感覚豊かな女性の育成を理想に掲げ、その実現に向かって邁進しています。

やさしい心、がまん強い心を

教育目標に『生き生きとした子(やさしい心)、健やかな子(じょうぶな体)、自ら学び自ら考える子(かしこい頭)』と掲げ、他人には優しく自分には厳しい心を持った人間づくりの基礎部門を担っています。

基礎学力の充実と英語学習、水泳授業、情報教育

教科担任制●低学年の授業は専科分野を除いて、学級担任が受け持ち、高学年は教科担任制をとり、基礎学力の充実をめざしています。

英語学習●1年から週2時間の英語学習を設定しています。2時間のうち1時間は、外国人講師と日本人教師のチームティーチングを行い、もう1時間はクラスを半分に分けた少人数制授業を行っています(1年から3年で実施)。6年生までに英検4級以上の取得を目指します。また、中学校のカリキュラムを先取りした一貫校ならではの英語教育を行っています。

蓼科学習●6年間を通じ、自然観察やスキーを含む学年に応じた体験学習を長野県蓼科高原の山荘を拠点に行っています。

水泳授業●温水プールを利用して、各学年の達成目標を定め、6年間で3泳法を身につけます。

情報教育●情報社会を健全に、柔軟に生き抜くため、1年生からタブレット端末を使用して、個人やグループで情報リテラシーやモラルなどを学んでいきます。

上級学校に進むには

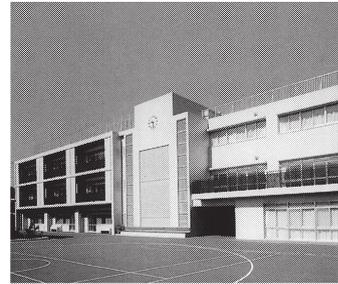
小学校から中学校へは、原則として小学校の推薦により全員が進学できます。

豊かな人間性と個性の伸長をはかり、こころの教育を重視

学校長 川村 正澄

学園の創立者川村文子の教育理念を基盤とし、豊かな人間性と個性の伸長をはかることを教育の指針としております。

小学校は、学園の一貫教育体系の第一歩として、基礎基本の徹底とともに複雑化する現代社会の中で、もっとも重視しなければならない『こころ』の教育を行っています。子どもは子どもらしく、生き生きと元気に過ごし、輝きながら育つ中からいたわりや思いやりを育て、めぐり合う諸問題に対応できる正しい判断力と勇気を兼ね備えた人間を育てたいと思っております。



沿革

1924(大正13)年、川村文子によって川村女学院創立。1927(昭和2)年幼稚園を、1932(昭和7)年に小学校開設。以来、教育内容や施設の充実に努め、現在では、幼稚園から大学・大学院までの一貫した教育体系を整えている。

2016年度募集要項 [前年度]

募集人員：[自己推薦個別審査] 女子約20人
[一般個別審査] (第1～3回) 女子約60人
出願期間：10月1日～10月24日
(郵送のみ/24日消印有効)

受験料：25,000円

選考日：[自己推薦個別審査] 11月1日

[一般個別審査] 第1回11月1日、第2回11月2日、第3回11月3日

選考内容：

[自己推薦個別審査] 行動観察、運動機能、親子面接
[一般個別審査] 行動観察、運動機能、保護者面接

合格発表：[自己推薦個別審査] 11月1日

[一般個別審査] 第1回11月1日、第2回11月2日、第3回11月3日

【かかる費用】

入学金：300,000円

授業料(年額)：396,000円

その他(年額)：390,600円

※給食費132,000円(年額)を含む

※鶴友会入会金(初年度のみ)3,000円を含む

併設中学進学状況

◆川村中学校(80%以上)

※成績等が基準に達した者は全員が進学可能

データパック

◆児童数520人/教員数43人

◆16年度応募者数：女子自己推薦32人、第1回67人、第2回66人、第3回65人

◆合格者数：女子自己推薦23人、第1回30人、第2回24人、第3回18人

【併設校】

○川村学園女子大学付属保育園

○川村幼稚園

○川村中学校・高等学校

○川村学園女子大学・大学院